



# 広報 イキシア

2018年1月

76号

イキシアには「団結して事にあたる」という花言葉があります。やつと関心を集めるようになったこの精神保健の分野に理想の福祉を実現する為にあなたの知恵と力をお貸しください。

## 新たな福祉サービス

理事長 寺田 一郎

皆様それぞれに新たな思いで二〇一八年の新年を迎えられたことと存じます。祝福された一年となりますようにお祈りいたします。

ワナーホーム(WH)では、大網(本部)、柏、長生(茂原)、千葉という四か所の拠点で事業を行っています。この内柏では昨年十一月に開始した地域生活支援拠点事業を軌道に乗せることが急務となっております。また、四月には千葉市誉田で建設中であつたグループホーム「ポルタ」(イタリア語で扉の意)が運営を開始します。これらの具体的な状況については次ページ以降でお伝えしますが、今後の事業展開についても地域のニーズに対応した、ワナーホーム基準にあつたものとなることを念じております。

### 国の動向とWH

ところで厚労省は障害者自立支援法の施行(平成十八年)以来、次々と制度改正と新施策を打ち出してきました。昨年の社会福祉法人制度改革も大きな変革でしたが、福祉法人は理事会や評議員会の組み

換えに追われました。その変更は果たしてどんな効果をもたらしたのか、大山鳴動して鼠一匹の感は拭えませんが、地域では基幹相談支援センターや障害者地域生活支援拠点事業に加えて「地域共生社会の実現に向けて」という錦の御旗が振られています。対象者を障害の種類や年齢で限定せずに総合的な支援体制を作るといのが政策目標とされています。福祉の方向は、何でもありの総合的な支援「縦割り」から「丸ごと」へ向かっています。

障害者総合支援法は、身体障害、知的障害、精神障害と障害児の福祉制度を一体化しました。新たに提唱されたこの「丸ごと支援」政策は高齢者、障害者、児童さらすすべての市民の福祉を合体することになるのでしょうか。

ここではそれぞれの福祉サービスを相互に利用できるのか、対象者に応じた専門性は確保できるのか、そしてもっとも肝心な人材の確保ができるのか、が大きな課題だと思えます。地域生活支援に

シフトした福祉では、地域ニーズの急激な多様化をもたらしました。これに対応できる人材供給は制度改革の成否を握っている訳ですが、宅急便や飲食店チェーンで一部サービスの縮小や店舗数の削減などが行われていることは、福祉分野に大きな警鐘を鳴らしているように思えてなりません。

### 障害者総合支援法の改正

二〇一六年六月に公布された改正障害者総合支援法の施行が四月に迫っています。今回の改正は、①障害者の

望む地域生活の支援、②障害児支援のニーズの多様化へのきめ細かな対応、③サービスの質の確保・向上に向けた環境整備、が柱となっています。①では障害者支援施設やグループホーム等を利用して

いた障害者で一人暮らしを希望する者を対象とした自立生活援助という福祉サービスが新設されます。定期的な訪問や電話等の相談に対応することとされています。また、就労定着支援というサービスも新設されます。就

業に伴う生活面の課題に対応すべく事業所・家族との連絡調整等を行うというものです。さらに、介護保険に移行する際の利用者負担を軽減するために利用料の償還と障害福祉事業所が介護保険事業所になりやすくするという仕組みが導入されます。

地域生活支援に関する制度の新設だけを取り上げましたが、地域移行や就労定着など既存のサービスの活用で十分ではないかなど、問題点を内包しながら法人では具体的な取組みを検討する必要性に迫られている、という状況です。

「医療的ケアを要する障害児」対策はまさに柏で行われている「すくすく」の事業ですが、柏市役所との連携の効果を期待しています。

一方、精神保健福祉法の改正案は昨年の通常国会に提案されたものの中心課題である措置入院制度の見直し部分で紛糾し結局継続審議となりまりました。

このように、今年も次々と繰り出される制度改正への対応に迫られる一年となりそうです。ワナーホームがどのように取組むべきか。それはワナーホームと向き合いながら職員たちがどんな議論をするかにかかっています。

## 柏市地域生活支援拠点 たんぽぽ

平成29年11月1日、柏市で2か所目となる  
柏市地域生活支援拠点たんぽぽを開所しました。

当法人が行う地域生活支援拠点は、  
「安心と信頼」「障害児者と地域の関わり・相互理解」が生まれる拠点から、  
みんなでつくる みんなで暮らせる町 かしわの実現を目指します。



社会福祉法人ワーナーホームが実施する地域生活支援拠点は、二つのコンセプトに基づく事業で構成されています。一つ目は、安心と信頼を担保する基本事業です。拠点事業に求められる基本機能は、障害児者の重度化、高齢化、親亡き後に備え環境を整えていくことです。何かあったときには駆け込んでこられるから大丈夫、という地域で生活する障害児者の安心と、拠点としての信頼を担保するのが一つ目の基本事業です。

二つ目は、障害児者と地域の交流、相互理解を促す提案事業です。なにかあったら駆け込んでこられるだけでなく、なにかなくても気が付いたら自然と一緒にいられた、知っていたそんな交わりや出会いを促すことによって、ひとりひとりが住むすぐそばに、安心でき、支えあえる関係が広がってくれることを願い、行う事業です。これらの二つのコンセプトが重なり合い、この拠点から、みんなでつくるみんなで暮らせるまちが広がり深まることを目指します。

### 【基本事業】

地域で生活する障害児者の安心と信頼を担保する

相談支援機能強化・コー

ディネーター事業では、二五名のコーディネーターを配置し、二十四時間相談支援体制で緊急時に対応し、専門性とネットワークで連携を強化します。

指定特定・一般・障害児相談支援では、障害児者や地域の強みを大切に、障害をもつ方ご自身の選択や、障害を持つ子どもたちの健やかな成長をサポートします。

共同生活援助・短期入所は、特に不足している精神障害者の障害者の緊急対応、体験の場となります。

訪問看護では、障害児者の重度化、高齢化に対応し、医療と地域の連携を促進する精神科に特化した訪問看護を提供します。特に、すでに全国的なモデル地域として在宅医療の推進が図られているこの柏において、国が示す精神障害にも対応可能な地域包括ケアシステム構築に向けて、障害分野との橋渡しの役割を果たしたいと考えています。

安心と信頼を担保する基本事業は、これらのスタッフが協働し、運営することによって、より安定的に、地域の方々に安心を提供し続けることを目指します。

特に、二十四時間対応や緊

急受け入れについては、議論が各所でされるところではあります。断る理由を探すのではなく、どうしたら受け止めることができるかを考え、その積み重ねの中から、緊急の対応にならずに暮らし続けることができる地域の体制づくりに取り組んでいきたいと思えます。

**【提案事業】  
障害児者と地域の関わりや  
相互理解を促す**

就労支援事業では、地域に愛されるベーカリーの運営によって、事業所に通う利用者やの工賃向上を目指すとともに、様々な事業所の製品の販売場所の提供や、パッケージ提案などにより、柏市全体の工賃向上に貢献します。十一月九日、ペジューブルリニューアルオープンの日には、二七〇名のお客様にご来店をいただき、利用者・職員ともにうれし忙しいスタートを切りました。

放課後等デイサービス・日中一時支援では、医療的ケアを必要とする子どもたちの支援の充実を図るだけでなく、地域の子どもルームや保育所との交流を促します。その交流が、目の前にいるのは医療的ケアを必要とする特別な子

どもではなく、この地域で大切に育てていく子どもたちだと感じられることへと繋がっていくことを期待しています。

そんなたくさんの想いと願いを丁寧を受け止め、大塚瞳子設計事務所 大塚設計士が設計し、立沢建設の施工によって、この事業を実施する拠点施設が完成しました。拠点施設は、柏市市民体育館のすぐ隣に設置されました。保健所や市役所、大学病院にもアクセスのよいこの立地を生かし、地域で生活される障害児者やご家族の生活を支える拠点として、みなさまに安心を届け、信頼される拠点となっていきたいと思えます。

柏市地域生活支援拠点たんぽぽを、どうぞよろしくお願いたします。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

(大久保)

〈相談室〉



〈グループホームリビング〉



〈ベーカリー〉



〈外観〉



〈放課後等デイサービス〉





だいち  
三好 美瑞

明けましておめでとうござ  
います。昨年春からリーダ  
ーとなり、あっという間に新し  
い年を迎えました。この一年  
間まだまだ頼りない私を、多  
くの方に励ましご指導いただ  
きました。心より感謝申し上  
げます。今年も戌年です。犬の  
ように活発に、軽やかに、困っ  
たときはすぐ駆けつけ、一緒  
に悩んだり解決したりする、  
そんな頼れる職員になりたい  
と思います。本年もよろしく  
お願いいたします。



ワークシヨップしらさと  
吉野 彰

新年明けましておめでとう  
ございます。昨年四月から、ま  
たワークシヨップしらさとに  
配属になりました。以前と比  
べ、作業内容と利用者がか  
なり増えました。色々な作業を  
行なうにあたり職員も増えま  
した。作業や利用者のことは  
もちろんですが、上司、後輩、  
パート職員のフォローをして、  
職員間のパイプとなり、皆が  
仕事しやすい環境を作るのが  
私の役目だと意識して、今年  
も頑張ります。



長生地域生活支援センター  
森 敦生

新春お慶びを申し上げます。  
ワナーホームに就職して  
三年目、リーダーに就任し二  
年を迎えました。利用者とし  
ての家族、職員や関係機関に支  
えられながら今後も業務や役  
割を果たし、ワナーホーム  
の良さを伝えられる様に日々  
努力を積み重ねたいと思いま  
す。  
最後に感謝の気持ちといつ  
も笑顔で仕事を楽しみ、今後  
ともご指導ご鞭撻を宜しくお  
願ひします。



新ホレブ寮  
神作 日和子

新年おめでとうございます。  
年々月日の経つのが速く感  
じられ、昨年は何もしないう  
ちに過ぎてしまったように感  
じます。今年も一年が終わっ  
た時に充実した一年だったと  
振り返ることができるよう、勉  
強することに関心を持ち、勉  
強する時間を作りたいと思  
います。職場では、「働きやすい  
職場」を皆で作っていきけるよ  
うに努めます。  
今年もよろしくお願ひしま  
す。



ワークシヨップ茂原  
橋本 義隆

新年あけましておめでとう  
ございます。今年度から新し  
くリーダーとなりました。入  
社して七年が過ぎ気づけば、  
中堅と言われる年齢にも達し、  
リーダーという役割を担うこ  
とにうれしさと責任を感じて  
います。  
今後のワナーホームを担  
う、利用者へ信頼と人気が得  
られる職員となれるよう、自  
分磨きとこれまで以上に仕事  
の完成度を高めていくことが  
自分の新たな目標です。



ヘルパーステーションそら  
香山 恵美

ワナーホームに入職して  
十一年目のお正月を迎えまし  
た。たくさんのお客様・職員  
に支えられ、楽しくここまで  
仕事を続けていくことができ、  
感謝の気持ちです。  
二〇一八年は、仕事の時間  
配分を考え、周囲をじっくり  
見渡す気持ちの余裕を持って、  
物事に対応します。大切な職  
員が、前向きに進んでいける  
職場環境作りを目指します。  
笑顔の職員と利用者へ寄り  
添いたいと思います。



エクラス  
土屋 梢

昨年度は十一月から柏拠点  
では初めての短期入所事業を  
開始しました。柏市地域生活  
支援拠点たんぼの開所式で  
は冒頭からハプニングが起こ  
り、参加された皆さまからの  
サポートを頂き、結果的には  
温かみのある式典を共有でき  
たように感じました。  
利用者・地域で暮らす方々・  
関係機関など様々な立場の人  
が支えあえる場にしていきけるよ  
う職員一丸となって頑張ります  
ので宜しくお願ひ致します。



長生地域生活支援センター  
齋藤 恵太

あけましておめでとうござ  
います。今年度、リーダーに就  
任しました。  
今年で、入社六年目を迎え  
ましたが、まだまだ至らない  
点も多く、今後も様々な業務  
や役割を果たせるよう、努力  
を重ねたいと思います。  
最後に私を支えて下さって  
いる、利用者や関係者の方々、  
職員、家族、周囲の皆さん、い  
つも本当に感謝しています。  
今後とも宜しくお願ひします。



ワークシヨップ鎌取  
長妻 雄太

昨年四月よりリーダーに昇  
格しました。同時期に千葉拠  
点へも異動となり、早いもの  
でもう十ヶ月。利用者と一緒に  
に流しそうめんやBBQにも  
参加し、段々と千葉拠点にも  
溶け込むことができているか  
と思います。  
今年も事業所の仕事により  
深く関わりをもち、千葉拠点  
がより働きやすく、利用者の  
より居心地の良い拠点となる  
よう努めて行きます。

### 第十五回 みんなのまつり 台風により中止

毎年恒例のワーナーホームの一大行事であるみんなのまつり。今年度の第二十五回みんなのまつりのテーマは「チャレンジ」として十月二十九日(日)に実施する予定として計画し準備を進めておりました。

忘れもしない、十月二十四日の十五時頃に台風二十二号が発生。何とか早まるか逸れるかしてほしいと願いながらも、最悪の事態を想定し関係機関の皆様、またステージ発表を予定していた利用者の皆様には、あらかじめ中止の可能性がある事をお伝えし、前日の正午の時点で判断することとしました。日に日に天気予報は変わり、曇りになったり豪雨になったりと、ぎりぎりまで中止か決行かの判断を悩まされました。

通常、雨天であれば実施するのですが、今回は台風とこれまでにない事態となり、何とか行えないかと実行委員では時間を短縮してスケジュールも用意するなどしておりました。台風が直撃する可能性が高い事と来場者の安全を考慮した結果、中止という判断をいたしました。

しかし、当日お越しになる

方もいらっしゃるのではというところで、午前中に限り、バザーのみ実施し、地域の方、三十五名、利用者二十五名の合計六十名にお越しいただきました。中には遠方から楽しみにしてお越しいただいた方や、みんなのまつりのファンで毎年、パンフレットを保管しており、パンフレットだけでももらいたいという方もいらっしゃりとでもうれしく思いました。

二十五回目にして初めての中止という結果となつてしまいが協力頂きました関係機関の皆様、楽しみにしていただいたの皆様大変申し訳ありませんでした。この悔しさを次年度のみんなのまつり実施のエネルギーとし、準備致しますので皆様ぜひお越しくください。

(橋本)



### 出店販売のい報告

〈ワークショップ兼取〉

ペジールブル鎌取店もオープンから三年が経ち、常連のお客様が増えてきました。地域のイベントへの参加も増え、十月二十八日には昨年引き続き下総精神医療センターの「しもやぎフェスティバル」、十一月三日には、開始前から一五〇名の行列ができる近隣幼稚園の「マリアフェスティバル」に出店しました。今年は十四万円の売上げを残しています。十一月十八日には初めて普田小学校「PTAバザー」に出店しました。これは、お客様からの評判により、出店依頼をいただきました。職人としては、嬉しい限りです。

(磯田)



〈ワークショップしらさと〉

年間を通して様々な場所へ出店に出掛けています。特に秋の季節は、毎週末のように大網白里市産業祭、特別支援学校文化祭など利用者、職員が協力して出店をしています。出店では、クラフト作品、漬物、野菜など日々の作業で作った物を販売しています。販売を行なう事により、利用者自身の発揮する場や、私達の活動を地域の方へ知ってもらう大事な役割があります。また、関係機関、団体との交流、活動内容を知る、貴重な一日となっております。情報を得た物に関しては、作業内容や販売の参考となり、今後の活動に活かしています。

(星野)



〈ワークショップ茂原〉

ペジールブル茂原店は今回、十月に茂原公園で行われた地域のイベント「パンガナイト」、長生特別支援学校「しおかぜ祭」、十一月に大網特別支援学校「秋桜祭」に出店をしました。パンガナイトでは千葉県内のお店が出店し、パンやお菓子を販売する中、ペジールも同じステージに立ち、職員と利用者が一丸となって他店に負けない販売を行いました。しおかぜ祭は今回二回目の出店でした。当日は雨でしたが、多くのお客様にパンをご購入頂き、完売しました。秋桜祭は利用者のご家族からご紹介を頂き、出店に繋がりました。利用者と共に今後繋がる新たなチャレンジが出来ました。

(菊地)



# 長生地域生活支援センター・長生ブリオ

## 事務所改修工事 を行いました!!



茂原駅から徒歩三分の場所で相談支援と地域活動支援センターを行う「長生地域生活支援センター」、それから障害者就業・生活支援センターの「長生ブリオ」から、事務所の改修工事完了の報告です。

これら二つの事業所は一つの建物で実施しています。近年の相談やアウトリーチ等の支援の拡大を反映して、相談に従事する職員が増え事務所が手狭になってきました。今回の工事は、階段の位置を変更し、余るスペースを事務所として増床するものです。

当初は十月の約二週間で階段の移設、事務所の増床、壁の設置、その他の作業が済む予定でした。しかし今年の十月は雨も多く、二週連続で台風に襲われた事などから、それが二倍近くに延び、ほぼ十月いっぱいですが工事期間となってしまいました。当然、通常業務を行いながらの工事でしたので、その間の相談室の確保や工事の音が聞こえる中の電話相談など、利用者の皆さんには不便な思いをさせてしまいました。申し訳ありませんでした。皆さんの理解と協力があって無事に済ませることが出来たのだと感謝しています。

工事の完了後は、今まで一階・二階に分かれていた二つ

の事業の職員が全員一階の事務所業務に就けるようになり、職員間のコミュニケーションがとりやすくなったと感じています。また従来の二階の事務所だった部屋を相談室として使えるようになり、相談室が増え、全部埋まっていた次の人が使えない、といった事態も少なくなると想像します。

写真を見ていただければ分かりますが、事務所と憩いの場の壁に大きな窓をつけたので、利用者さんと職員が互いに見えやすく、声をかけやすい雰囲気になったのではないかな、と勝手に思っています。利用者の方々はどうぞ思われますか？

(山岡)



### わーなー日記

### 《ワークショップ茂原》

ワークショップ茂原は、今年で四年目を迎え、就労移行支援事業・就労継続支援B型事業の二つの事業を行っている定員二十六名のワーナーホームの中ではまだ新しい事業所です。

ワーナーホームのペジブル二号店としてオープンし、パン製造、販売が主な作業内容となっております。パンの仕込みや成形などの、技術を必要とする作業や、菓子製造やチャシ配りなど比較的技术を要さない作業など利用者のレベルと希望に合わせて作業を行っております。

ワークショップ茂原には、「就職したい」「日中の居場所が欲しい」「同じ病気の仲間と出会える場が欲しい」など様々な目的をもって通所してきています。就職を希望して

いる方の中には、作業を通して経験したことを活かして「パン屋に就職したい」と希望している方もおります。実際に今年度は、パン屋へ就職した利用者があり、定着支援で職場に伺うと楽しそうに働いていて「作業で学んだことを活かして働いています」と話を聞くともうれしく思います。

ペジブル茂原店としては最近、近所の小学生が買いに来てはイートインコーナーで宿題をしていたり、主婦の皆様様の休憩スポットにもなっていたりと地域に溶け込んできていると感じています。

今後も地域に根差した事業所づくりと利用者一人ひとりの目標や目的が達成できるように支援をしていきたいと思



(橋本)

# ワーナーホーム ワーキングパパ

## ～ 目指せイクメン～



共同生活援助事業  
**クロワール**  
生活支援員  
**山後 勝幸**  
(社会福祉士/精神保健福祉士)

●● 勤務日の私 ●●

7:00	起床
7:50	何もせず、自分の身支度のみ...
8:30	出勤
18:00	退勤
19:00	夕食
22:00	就寝

仕事の日は  
すべて  
妻任せ(泣)



●● 公休日の私 ●●

7:00	起床
7:20~	娘の食事の準備 
	娘の食事お手伝い
8:15~	洗濯機をまわす
	娘を保育園、妻を駅まで送り
8:40~	掃除機・フローリングの水拭き
9:00~	洗濯干し 
	2回目の洗濯機をまわす
9:30~	かけ終わっていないところの掃除機・水拭き
10:30~	食器洗い・ハイター消毒
	洗濯干し
11:00~	オーブンレンジ・ガスレンジ周りの清掃
12:00~	昼食休憩
13:00~	洗濯取り込み・畳み・しまい 
13:30~	厚手の衣類を洗濯・乾燥
14:00~	浴槽清掃
14:30~	食材買い出し・夕食の準備
17:30~	駅まで妻を迎え 
18:00~	娘を保育園に迎え
18:30~	娘をお風呂へ
19:00~	夕食
21:00~	食器洗い
22:00	就寝

休みの日くらいは  
徹底的に家事を  
やりきります!! (笑)

私は二〇一三年十一月にワーナーホームへ就職しました。就職してから今年の十月で五年目となります。

前職は特別養護老人ホームで介護職員として働いていましたが、障害支援に興味があり、ハローワークでワーナーホームを見つけ、就職しました。就職したては精神障害についてあまり理解がなかったのですが、ワーナーホームで生活している利用者を見て、高齢者とは違い自由に生活している印象がとて、強く受け、これからもここで働いていきたいと気持ちが強くなりました。

そんな気持ちを持ちつつ仕事をしている中、二〇一五年の十二月に娘が誕生。新米パパとして歩を歩むとともに娘のオムツの取り換え、お風呂入れ、食事の準備と妻に比べ手伝える部分は少ないですが、それでも生活環境がガラッと変わったのを感じました。

そして娘の体調不良で急ぎよ休みをもらうことが増えましたが、それでも武藤主任をはじめ、多くの職員に助けてもらい今日に至っています。そんなワーナーホームで自分が働けることが誇りであり、これからも精一杯働いていきたいという気持ちがさらに強くなりました。これからも頑張っていきます!! (山後)

ソフトバレー準備優勝

二〇一七年九月二十七日に、千葉ポトアリーナで千葉県精神障害者スポーツ大会が開催されました。私達、WANNAS(ワナーズ)はソフトバレー競技の二部リーグに参加しました。

一回戦目、「富津レイバース」、二回戦目「ウォリアーズ」と対戦し勝ち進み、決勝戦では「デイドリマー」に、惜しくも敗戦しましたが、「準備優勝」することが出来ました。

今年は、優勝を目標に掲げ、選手たちが進んで、ミーティングや練習方法の改善を行なってきました。今回の結果を来年に活かせるように、みんなで頑張つて行きたいと思

います。応援・協力してくださり、ありがとうございます。

(小川)



ワナーホームの主な動き

《九月》

- ・理事会
- ・就労者ミーティング(交流会「BBQ」/山武プリオ)
- ・バーベキュー交流会/千葉拠点
- ・お出かけツアー「BBQ・長柄町都市農村交流センター」/ホレブデイサービスセンター(自立訓練)
- ・お出かけツアー「ゲーズハーバー(遊覧船)」/ホレブデイサービスセンター(生活介護)
- ・外出プログラム「ドイツ村」/長生地域生活支援センター

《十月》

- ・防災の日 炊き出し/ホレブ・ノバイツ白里



《十一月》

- ・下総精神医療センター主催 しもやぎフェスティバル(パン販売)/ワークショップ兼取・フジエール
- ・芋掘りツアー「茂原市内」/長生地域生活支援センター
- ・茶話会外出プログラム「道の駅 あずの里いちほら」/長生地域生活支援センター
- ・泊旅行「富士山・精進湖」/だいち



- ・聖母マリア幼稚園マリアカフェ ステイバル(パン販売)/ワークショップ兼取
- ・お出かけツアー「見浜園(日本庭園)」/ホレブデイサービスセンター(生活介護)
- ・お出かけツアー「千葉市動物公園」/ホレブデイサービスセンター(自立訓練)
- ・外出プログラム「成田市場・成田山新勝寺(紅葉狩り)」/長生地域生活支援センター
- ・カラオケ大会/だいち

《十二月》

- ・泊旅行「栃木県 鬼怒川温泉」/フジエール
- ・秋レク(運動会)/ホレブ・ノバイツ白里
- ・理事会
- ・就労者ミーティング(交流会「卓球大会」/山武プリオ)
- ・クリスマス会/ワークショップ兼取/大網事業所/エクラス/ワークショップ茂原・長生地域生活支援センター
- ・そばの会/長生地域生活支援センター
- ・カラオケ大会/ホレブ・ノバイツ白里
- ・全体ミーティング・忘年会/だいち

イキシア入会のご願い

イキシア会は利用者とそのご家族及び一般有志からなるワナーホームの支援団体です。活動においてご理解を頂き、ご支援・ご協力を賜ります様宜しく願います。

広報イキシアは年三回(一月・五月・九月)発行されます。

《会費》  
賛助会員 三,〇〇〇円(年)  
正会員 一〇,〇〇〇円(年)

編集後記

あけましておめでとうございます。我が家の猫は、玄関でお見送りをしてくれます。まるで忠犬、ではなく忠猫?。そんな猫に癒されながらまた一年頑張ります。

(M)

発行所

ワナーホームイキシア会

千葉県大網白里市細草3215

電話 0475-77-2100(代)

URL <http://www.wanahome.or.jp>

発行人 寺田 一郎